

令和6年度 後期学校評価報告書

鬼北町立近永小学校

【評定の評価基準】 A：80%以上達成 B：70%以上達成 C：60%以上達成 D：50%以上達成 E：50%未満

【アンケート結果】 4：できている 3：おおむねできた 2：あまりできていない 1：ほとんどできていない

※集計により100%に満たない場合がある。

| 項目                           | 評価指標   | 評価 | 考察(◇)と改善方策(◆)  | 評価資料 | 評定 | 肯定率(4+3) | 4     | 3     | 2     | 1    |
|------------------------------|--|----|--|------|----|----------|-------|-------|-------|------|
| 人間力<br>笑顔で挨拶ができ、思いやりの心を持った児童 | ①学校は、笑顔で元気よく挨拶ができる児童の育成に努力している。  | A  | ◇個人差がある。機会を捉えて指導を継続する必要がある。<br>◇児童の評価が若干低下する傾向が見られる。<br>◇挨拶はするが、目線が合わない子どももいる。相手の顔を見て挨拶をするよう指導が必要である。<br><br>◆教師、児童会が率先して手本となる挨拶を行い、登校指導等のチャンス指導を継続する。家庭での挨拶については、家庭への呼び掛けを行う。 | 保護者  | B  | 71.1%    | 19.3% | 51.8% | 25.4% | 3.5% |
|                              |  |    |  | 地域住民 | A  | 88.9%    | 61.1% | 27.8% | 11.1% | 0.0% |
|                              |  |    |  | 教職員  | A  | 93.3%    | 20.0% | 73.3% | 6.7%  | 0.0% |
|                              |  |    |  | 児童   | A  | 84.4%    | 39.7% | 44.7% | 13.4% | 2.2% |
|                              | ②子どもたちは、話を聞くときには、相手を見てしっかり聞くことができている。  | A  | ◇根気強く指導を続けたことで、落ち着いて人の話を聞く児童が増えている。<br>◇話の内容をしっかり聞き取れる児童を育てていく必要がある。<br><br>◆姿勢だけでなく、相手に目を向けることを意識させる指導を継続して行う。話や指示をしっかり聞き取り、行動できる児童を増やしていく。                                   | 保護者  | A  | 85.8%    | 32.7% | 53.1% | 14.2% | 0.0% |
|                              |  |    |  | 地域住民 |    |          |       |       |       |      |
|                              |  |    |  | 教職員  | A  | 80.0%    | 6.7%  | 73.3% | 20.0% | 0.0% |
|                              |  |    |  | 児童   | A  | 91.6%    | 62.0% | 29.6% | 6.1%  | 2.2% |
|                              | ③子どもたちは、相手を思いやりながら、協力し合って学校生活を送っている。   | A  | ◇行事や掃除の時、上学年がよく世話ができています。<br>◇学習発表会(たかつき集会)を経験し、協力する雰囲気が高まっている。<br><br>◆縦割り班活動や児童会活動を通して、上学年が下学年を思いやる行動が見られる。継続して行い、よりよい人間関係を築かせていきたい。   | 保護者  | A  | 92.8%    | 33.3% | 59.5% | 7.2%  | 0.0% |
|                              |  |    |  | 地域住民 | A  | 100.0%   | 50.0% | 50.0% | 0.0%  | 0.0% |
|                              |  |    |  | 教職員  | A  | 86.7%    | 13.3% | 73.3% | 13.3% | 0.0% |
|                              |  |    |  | 児童   | A  | 96.1%    | 66.5% | 29.6% | 1.1%  | 2.8% |
|                              | ④児童、教職員で協働して清掃活動に努め、校内・校舎の周りの環境は気持ちよく整備されている。<br>※児童の問い「そうじのさしすせそを守って掃除をしていますか。」 | A  | ◇黙働している児童が多い。8割以上の児童が静かに一生懸命掃除をしている。<br>◇道具を正しく使って、てきぱきできるようにしたい。<br><br>◆「そうじのさしすせそ」を再確認し、掃除に取り組ませるとともに、「自分たちの学校は、自分たちできれいにする。」という意識を定着させる指導を継続して行う。少人数でもてきぱき掃除ができる力を付けていきたい。 | 保護者  | A  | 98.5%    | 48.1% | 50.4% | 0.7%  | 0.7% |
|                              |  |    |  | 地域住民 | A  | 100.0%   | 94.4% | 5.6%  | 0.0%  | 0.0% |
|                              |  |    |  | 教職員  | A  | 100.0%   | 46.7% | 53.3% | 0.0%  | 0.0% |
|                              |  |    |  | 児童   | A  | 100.0%   | 61.6% | 38.4% | 0.0%  | 0.0% |

|  |   |   |      |        |        |       |       |       |      |  |
|--|---|---|------|--------|--------|-------|-------|-------|------|--|
| 活力<br>心身ともに健康で、<br>一生涯命取り組む児童                  | ⑤子どもたちは、自分から進んで体力づくりに取り組んでいる。   | A<br>◇休み時間には、外に出て遊んでいる児童が多い。昼休みには、鬼ごっこやサッカーなど、誘い合って遊んでいる。<br>◇縄跳びなど目標を持って、体力づくりに取り組んでいる児童が増えてきている。<br>◇課外体育への参加をもっと呼び掛ける必要がある。<br><br>◆授業で個々に体力づくりの目標を持たせるとともに、目標達成の喜びを味わわせる取組を引き続き行う。高学年を中心に、課外体育への参加についてしっかり声掛けをしていく。また、家庭での運動習慣も定着できるように啓発していく。              | 保護者  | B      | 70.4%  | 31.3% | 39.1% | 27.0% | 2.6% |  |
|  |   |   | 地域住民 |        |        |       |       |       |      |  |
|  |   |   | 教職員  | A      | 92.9%  | 7.1%  | 85.7% | 7.1%  | 0.0% |  |
|  |   |   | 児童   | A      | 85.0%  | 56.1% | 28.9% | 12.2% | 2.8% |  |
|  | ⑥子どもたちは、行事や体験活動に意欲的に参加している。   | A<br>◇学習発表会（たかつき集会）等の行事ごとに児童が生き生きと取り組み、力を付けてきた。達成感、満足感を得た児童も多かった。<br>◇インフルエンザの流行も心配されたが、感染症の対策を講じながら行事を行うことができた。<br><br>◆児童の視線で行事や体験活動を見直し、より良いものにしていきたい。また、地域に出て学ぶ機会も積極的に計画し取り入れていきたい。   | 保護者  | A      | 99.1%  | 49.6% | 49.6% | 0.0%  | 0.9% |  |
|  |   |   | 地域住民 |        |        |       |       |       |      |  |
|  |   |   | 教職員  | A      | 100.0% | 57.1% | 42.9% | 0.0%  | 0.0% |  |
|  |   |   | 児童   | A      | 93.3%  | 68.3% | 25.0% | 6.1%  | 0.6% |  |
|  | ⑦子どもたちは学校へ行くのを楽しみにしている。   | A<br>◇明るい表情で登校してきて、朝から元気である。しかし、児童・保護者の評価に「2」と「1」が一定数あり、学校を楽しみにしていない児童の存在が課題である。個別の対応も必要である。<br>◇保護者のアンケートには、「学校に行くのが楽しいようだ。」との意見が複数見られた。<br><br>◆目的や目標を明確にし、学校生活を送らせたり、下校の時に、明日のイベント等を知らせ、明日の学校が楽しみになるようなお知らせをしたりするなどの工夫をする。必要に応じて、家庭と連携し、児童の気持ちに寄り添って対応をしていく。 | 保護者  | A      | 85.2%  | 36.5% | 48.7% | 13.9% | 0.9% |  |
|  |   |   | 地域住民 |        |        |       |       |       |      |  |
|  |   |   | 教職員  | A      | 92.3%  | 7.7%  | 84.6% | 7.7%  | 0.0% |  |
|  |   |   | 児童   | A      | 85.6%  | 50.0% | 35.6% | 10.6% | 3.9% |  |
| ⑧自己有用感や所属感を感じられるような、豊かな人間関係や温かみのある学級づくりに努めている。 | A<br>◇学級担任は、一人一人を大切に授業や学級活動を行うよう心掛けている。しかし、うまくできていないと感じている者もいる。<br>◇クラスで認め合う、支え合う雰囲気になっている。<br>◇気になることがあれば、すぐに相談できる組織づくりができていく。<br><br>◆人と関わり、成功したり失敗したりしながら成長できる機会をつくる。認め合い支え合う集団づくりを目指す。さらに、学力・体力・コミュニケーション能力の向上を図り、総合的に健全育成を目指す。 | 保護者   |      |        |        |       |       |       |      |  |
|  |   | 地域住民  |      |        |        |       |       |       |      |  |
|  |   | 教職員   | A    | 100.0% | 23.1%  | 76.9% | 0.0%  | 0.0%  |      |  |
|  |   | 児童  | A    | 95.5%  | 64.2%  | 31.3% | 3.4%  | 1.1%  |      |  |



|  |   |  |   |  |        |        |       |       |       |      |      |  |
|--|---|--|---|--|--------|--------|-------|-------|-------|------|------|--|
| ロ<br>コ<br>ミュ<br>ニ<br>ティ<br>・<br>ス<br>ク<br>ー<br>ル | 地域の力を活用した学校づくり  | ⑭子どもは、「朝の歯磨き・洗顔・朝ご飯」の習慣が身に付いている。                                       | A   | ◇家庭への呼び掛け、児童への指導を行ってきた。洗顔、寝癖などの身だしなみが不十分な児童がいる。<br>◇早寝、早起きを奨励し、朝の時間に余裕を持たせたい。<br>◇視力低下も心配な状況があるため、学校での遠方凝視を継続する。 | 保護者    | A      | 93.0% | 53.9% | 39.1% | 6.1% | 0.9% |  |
|  |   | *はゲーム時間、就寝時間に関する問い   | ◆歯磨き、洗顔、朝ご飯が習慣となるよう、家庭への呼び掛けを行う。また、養護教諭を中心に、朝ご飯の大切さを指導する。                                 | 地域住民   |        |        |       |       |       |      |      |  |
|  |   |  | ◆ゲーム時間、就寝時間は、家庭でのルールづくりの徹底を呼び掛けるとともに、PTA作成の「スマホの約束」が定着できるよう、家庭へ呼び掛ける。                     | 教職員  | A      | 92.3%  | 23.1% | 69.2% | 7.7%  | 0.0% |      |  |
|  |   |  |   | 児童   | A      | 96.6%  | 83.2% | 13.4% | 3.4%  | 0.0% |      |  |
|  |   |  |   | *保護者   | C      | 59.1%  | 21.7% | 37.4% | 31.3% | 9.6% |      |  |
|  |   |  |   | *児童  | A      | 83.8%  | 53.6% | 30.2% | 8.9%  | 7.3% |      |  |
|  |   |  |   | 保護者  | A      | 95.6%  | 46.0% | 49.6% | 4.4%  | 0.0% |      |  |
|  | ⑮学校は、安全・安心な学校づくりに努めている。   | A  | ◇手洗い、消毒等、感染症予防が定着している。<br>◇安全な登下校について、教頭や生徒指導主事を中心に指導を行ってきた。地域の方の協力もあり、児童が安全に登下校できている。    | 地域住民   | A      | 100.0% | 70.6% | 29.4% | 0.0%  | 0.0% |      |  |
|  | ⑯子どもたちの学習していることや活動の様子を、学校・学級だよりやホームページ等で知らせている。<br>※児童の問い「学校から配られた文書や通信は、すぐ家の人に渡し、読んでもらっていますか。」 | A  | ◇ホームページを日々更新することを心掛け、児童の活動や学校の様々な情報を発信することができた。<br>◇読みやすい紙面を工夫し、学級だより、学校だよりを作成することができている。 | 教職員  | A      | 100.0% | 40.0% | 60.0% | 0.0%  | 0.0% |      |  |
|  |   | ◆保護者、地域の方の協力を得ながら、児童が安全に登下校できるよう、見守りを行う。教頭、生徒指導主事を中心に定期的な登下校指導を継続していく。 | 児童  | A  | 98.3%  | 79.3%  | 19.0% | 1.7%  | 0.0%  |      |      |  |
|  |   |  | 保護者   | A  | 97.4%  | 53.0%  | 44.3% | 2.6%  | 0.0%  |      |      |  |
|  |   |  | 地域住民  | A  | 100.0% | 83.3%  | 16.7% | 0.0%  | 0.0%  |      |      |  |
|  |   |  | 教職員   | A  | 100.0% | 73.3%  | 26.7% | 0.0%  | 0.0%  |      |      |  |
|  |   |  | 児童  | A  | 92.2%  | 62.0%  | 30.2% | 5.6%  | 2.2%  |      |      |  |
|  |   |  |   |  |        |        |       |       |       |      |      |  |
|  | ⑰学校は、保護者や地域と連携して教育活動を行っている。<br>※児童の問い「家の人に学校のことや友達のことを話していますか。」                                 | A  | ◇地域に出て学ぶ活動機会が増えて有意義だった。<br>◇依然として親子間の会話がないことが分かる。特に、児童から話しかけることが少ない。                      | 保護者  | A      | 93.6%  | 50.0% | 43.6% | 6.4%  | 0.0% |      |  |
| ◆PTAの会議等で、親子での会話を大切にしよう、呼び掛ける。                   | 地域住民  | A  | 94.4%   | 66.7%  | 27.8%  | 5.6%   | 0.0%  |       |       |      |      |  |
|  | 教職員   | A  | 100.0%  | 26.7%  | 73.3%  | 0.0%   | 0.0%  |       |       |      |      |  |
|  | 児童  | A  | 87.2%   | 64.8%  | 22.3%  | 8.9%   | 3.9%  |       |       |      |      |  |

|               | 評価委員の意見   | 学校の対応   |
|---------------|---|---|
| 人間力<br>①<br>③ | <p>○挨拶の評価の指数が少し低下していることが心配である。気持ちの良い挨拶ができるようにしていく必要がある。</p> <p>○高学年のリーダーシップを育成していく必要を感じる。昔は地域の中で子どもたちが自然に縦のつながりの中で生活していた。近年はそのような関係性が薄れており、学校の中で様々な面で縦割り班での活動があることはよい事だと思ふ。継続して活動しリーダーシップを育成して欲しい。</p> <p>○清掃への取組が素晴らしい。継続して続けてほしい。</p> | <p>○教職員、児童会が率先して手本となる挨拶を行い、登校指導等のチャンス指導を継続するとともに、家庭での挨拶については、家庭への呼び掛けを行う。</p> <p>○縦割り班活動や児童会活動を通して、上学年が下学年を思いやる行動がよく見られる。継続して行い、よりよい人間関係を築かせていきたい。その中でリーダーシップも育成していきたい。</p> <p>○「自分たちの学校は、自分たちできれいにする。」という意識を定着させる指導を継続して行う。少人数でもてきぱき掃除ができる力を付けていきたい。</p> |
| 活力<br>⑦       | <p>○1学期に比べ低学年は、元気よく登校している姿が見られるようになってきた。学校に行きづらい子どもたちには、しっかりと個別に対応していく必要がある。家庭との連携をさらに密にして個々の課題に寄り添っていくことが大切ではないか。</p>  | <p>○目的や目標を明確にし、学校生活を送らせたり、下校の時に、明日のイベント等を知らせ、明日の学校が楽しみになるようなお知らせをしたりするなどの工夫をする。必要に応じて、家庭と連携し、児童の気持ちに寄り添って対応をしていきたい。</p>   |
| 学力<br>⑨<br>⑭  | <p>○読書活動について学校の取組がよく分かった。高学年による低学年への読み聞かせ等の取組はよい取組だと思う。さらに、読書に親しみを持つような工夫をして欲しい。</p> <p>○「スマホの約束」を通しての家庭への啓発はよい取組である。状況に応じて内容を見直していくことも必要である。見直す際には、子どもたちの意見も反映させるようにするとよいのではないか。</p>   | <p>○学校での読書活動の取組を家庭に知らせるとともに、家庭での読書を奨励していきたい。また、図書委員会を中心に、児童が本に慣れ親しむ企画や環境づくりを継続して行っていく。さらに、高学年による読み聞かせ活動など、新たな取組も計画していきたい。</p> <p>○ゲーム時間、就寝時間は、家庭でのルールづくりの徹底を呼び掛けるとともに、PTA作成の「スマホの約束」が定着できるよう、家庭へ呼び掛ける。また、必要に応じて内容を検討していきたい。</p>                           |
| その他           | <p>○今後の運動会の在り方について、地域を含めて一緒に考えていく必要があるのではないか。見直しを持っておく必要がある。メリット・デメリット等を確認し、検討していく必要がある。</p>  | <p>○公民館と協議し、今年度の反省等について情報を共有し、今後の在り方について情報の集約に努めたい。</p>   |